



令和6年度夏季企画展

# カノミタカコ

—タイ山地民族手工芸品—

# collection

# 郷音

# まじら

# 手仕事の

# 世界



令和6年

## 8/10 (土) → 9/29 (日)

- 開館時間=9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日=毎週月曜日(8月12日、9月16日、9月23日は開館)、9月17日、9月24日
- 入館料=大人310円(250円) / 学生200円(160円) / 小中学生100円(80円)

※( )内は20名以上の団体料金、南丹市在住または在校の小・中学生は入館無料  
 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は別途割引料金となります  
 (手帳をご提示ください)

関連イベント

### 8/10

—おはなし会と工作のじかん—  
 【アジアや日本の昔話をテーマにしたおはなし会&工作のじかんを開催します】

### 9/7

—講演会—  
 「タイ山地民族の音楽—諸民族の音楽と比較しながら—」  
 講師:泉 健氏(和歌山大学名誉教授)

※詳しくは裏面をご覧ください。

# 郷音 きあう 手仕事の世界

本展覧会は、当館で所蔵するタイ山地

民族の資料(カノミタカココレクション)を、一堂

に公開するものです。これらの資料は、平成17年

(2005)4月に新園部町発足50周年記念企画展「タイ山岳少数民族

展～伝統的手工芸品の特徴と魅力～」開催後に、所蔵者のカノミタカコさんより、当時の園部町に一括して寄贈されたものです。

カノミタカコさんは、エレクトーン奏者として活躍した後、タイ北部の山地民族が創り出す染織や銀製品などの手工芸に魅せられ、1978年より約30年にわたって、現地で調査収集活動を展開されました。

3度目の公開となる今回は、手工芸品コレクションとともに、山地民族の民話や詩、音楽もお楽しみいただきたく企画しました。ひとつひとつ丹念に作られた工芸品の数々と、それらを日常のものとして使っていた人々の暮らしと文化は、今ではほとんど見る事ができません。

失われてゆくモノたちと、それをつくり伝えてきた技とともに、そこで暮らしを紡ぐひとたちに思いをはせながら、ご鑑賞ください。



## 関連イベント

**おはなし会と工作のじかん** **要申込**  
 アジアや日本の昔話をテーマにしたおはなし会 & 工作のじかんを開催します。  
**【日時】** 令和6年8月10日(土)  
 14:00～15:00  
**【会場】** 南丹市立文化博物館  
**【対象】** 一般向け(未就学児は保護者同伴)  
**【参加費】** 無料(但し本展覧会をご覧になる場合は入館料が必要です)  
**【定員】** 15名(先着順)  
 ※電話にて南丹市立中央図書館までお申込みください。  
 Tel: 0771 (68) 0080

**講演会** **要申込**  
**「タイ山地民族の音楽**  
**—諸民族の音楽と比較しながら—**  
 講師: 泉 健氏(和歌山大学名誉教授)  
**【日時】** 令和6年9月7日(土)  
 14:00～15:30  
**【会場】** 南丹市立文化博物館  
**【対象】** 一般向け(中学生以上)  
**【参加費】** 無料(要入館料)  
**【定員】** 20名(先着順)  
 ※電話にて当館までお申込みください。  
 Tel: 0771 (68) 0081



**アクセス**  
 ◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」「八木西IC」より約5分。園部公園駐車場をご利用ください。  
 ◆公共交通…JR園部駅下車、駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園篠線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または市営ぐるりんバスで「図書館前」下車すぐ。

**【表面掲載図版】** 左: ヤオ族赤ちゃん帽子(男児) / 右: リス族女性用ターバン / 下: アカ族首輪  
**【裏面掲載図版】** 1: ウー・ロー・アカ族女性用上着 / 2: リス族女性用上着 / 3: ブルー・モン族女性用衣装(スカート) / 4: 母親から織物を習うカレン族の少女 / 5: ラフ・ナー族銀の装身具 / 6: リス族男女兼用背飾 / 7: ラフ族腰具 / 8: カレン族死者用布 / 9: ラフ族馬の背かご / 10: リス族三絃楽器 / 11: リス族楽器 / 12: ラフ・ニー族女性用飾りボタン / 13: ヤオ族神像図「大道への橋」  
 【表面・裏面の掲載図版は全て当館蔵】